

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 極楽湯

コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新川 隆丈

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 松本 俊二

TEL 03-5275-0580

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,575	6.1	41	477.0	32		1	
21年3月期第2四半期	4,312		7		30		82	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	0.09	0.09
21年3月期第2四半期	7.77	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	14,038	4,568	31.5	417.06
21年3月期	13,230	4,592	33.7	420.90

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 4,417百万円 21年3月期 4,458百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		2.00		4.00	6.00
22年3月期		0.00			
22年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,600	8.7	250	21.0	200	11.0	100		9.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 有

〔注〕詳細は、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	11,529,000株	21年3月期	11,529,000株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	937,500株	21年3月期	937,500株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	10,591,500株	21年3月期第2四半期	10,591,500株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は、3ページ〔定性的情報・財務諸表等〕3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部の政策効果から個人消費全体は持ち直しの動きが見られたものの、失業率が過去最悪を更新するなど、雇用・所得環境は一段と厳しさを増しました。また、サービス業界を取り巻く環境も、消費活動の停滞や新型インフルエンザの流行など不安定かつ不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新規出店による店舗数の増加やお客様満足度向上のためのサービス強化、来店動機につながる広告宣伝強化によって来店顧客数を確保したことに加え、更なる物販強化により、連結売上高は前年同四半期に比べ増加いたしました。また、連結営業利益、連結経常利益及び連結四半期純利益につきましても、連結売上高の増大、エネルギー価格や原材料価格の落ち着きに加え、様々なコスト削減への取組みや営業外における原油スワップ評価益の計上等により、前年同四半期に比べ増加する結果となりました。

店舗数につきましては、平成21年8月に「極楽湯上尾店」（直営店）を出店したことにより、合計で48店舗（直営21、FC27）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきまして、売上高4,575百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。損益面につきましては、営業利益41百万円（前年同四半期比477.0%増）、経常利益32百万円（前年同四半期経常損失30百万円）、四半期純利益1百万円（前年同四半期純損失82百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は14,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ807百万円増加しました。これは主に、新規出店等による建物及び構築物（純額）の取得774百万円、敷金及び保証金の増加92百万円によるものであります。

負債合計は9,469百万円となり、前連結会計年度末に比べ830百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加623百万円、長期借入金の増加110百万円によるものであります。

純資産合計は4,568百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円の減少となりました。これは主に、期末配当金の実施42百万円によるものであります。また、自己資本比率につきましては、31.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は924百万円となり、前連結会計年度末に比べ、14百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、450百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益33百万円、減価償却費403百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、985百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出693百万円、貸付けによる支出320百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、520百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額623百万円、長期借入れによる収入592百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の動向を踏まえ、平成21年10月23日に公表のとおり、第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。

なお、通期の業績予想につきましては、経営環境が依然不透明であることから、当初予想を据え置いております。

詳細は平成21年10月23日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該たな卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しい時には、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

法人税等の算定方法

法人税等の計上は、簡便な方法により計算しております。また、その他影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

前連結会計年度まで、たな卸資産の評価方法を移動平均法による原価法にて会計処理していましたが、受発注システムの導入に伴い、総平均法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5.【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	924,310	938,616
売掛金	77,290	121,319
たな卸資産	32,218	20,314
繰延税金資産	25,895	22,147
その他	464,654	276,894
流動資産合計	1,524,369	1,379,291
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	3,879,540	3,105,366
工具、器具及び備品（純額）	111,174	25,508
リース資産（純額）	3,378,256	3,571,574
土地	244,250	244,926
建設仮勘定	80,854	341,138
有形固定資産合計	7,694,076	7,288,515
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	43,989	54,841
その他	63,010	49,293
無形固定資産合計	107,000	104,134
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	50,232	58,539
繰延税金資産	276,277	248,301
敷金及び保証金	3,704,122	3,611,967
その他	714,384	562,536
貸倒引当金	32,200	22,600
投資その他の資産合計	4,712,817	4,458,744
<b>固定資産合計</b>	12,513,893	11,851,394
<b>資産合計</b>	14,038,263	13,230,685

（単位：千円）

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	257,097	265,835
短期借入金	1,257,800	634,000
1年内償還予定の社債	84,000	84,000
1年内返済予定の長期借入金	831,900	740,000
リース債務	448,775	428,491
未払金	399,121	215,446
未払法人税等	75,914	35,043
賞与引当金	45,927	42,160
その他	560,399	577,090
流動負債合計	3,960,937	3,022,068
固定負債		
社債	180,000	222,000
長期借入金	1,950,900	1,840,300
リース債務	3,231,185	3,425,503
退職給付引当金	37,790	30,905
デリバティブ債務	1,390	16,927
その他	107,090	80,935
固定負債合計	5,508,357	5,616,571
負債合計	9,469,294	8,638,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,032,626	2,032,626
資本剰余金	2,179,226	2,179,226
利益剰余金	673,995	715,357
自己株式	466,875	466,875
株主資本合計	4,418,973	4,460,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,660	2,327
評価・換算差額等合計	1,660	2,327
新株予約権	151,655	134,038
純資産合計	4,568,968	4,592,045
負債純資産合計	14,038,263	13,230,685

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,312,296	4,575,201
売上原価	3,938,144	4,180,397
売上総利益	374,151	394,804
販売費及び一般管理費	366,966	353,346
営業利益	7,185	41,457
営業外収益		
原油スワップ差益	23,501	-
協賛金収入	-	33,904
その他	33,525	44,281
営業外収益合計	57,026	78,186
営業外費用		
支払利息	75,667	71,452
その他	19,532	15,717
営業外費用合計	95,199	87,170
経常利益又は経常損失( )	30,987	32,473
特別利益		
新株予約権戻入益	4,425	1,385
投資有価証券売却益	-	167
固定資産売却益	-	1,931
賞与引当金戻入額	10,186	7,068
特別利益合計	14,612	10,553
特別損失		
投資有価証券評価損	93,169	-
貸倒引当金繰入額	-	9,600
その他	3,149	-
特別損失合計	96,319	9,600
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	112,694	33,427
法人税、住民税及び事業税	22,760	64,606
法人税等調整額	53,122	32,183
法人税等合計	30,362	32,423
四半期純利益又は四半期純損失( )	82,332	1,003

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,243,118	2,483,038
売上原価	1,989,735	2,230,340
売上総利益	253,383	252,698
販売費及び一般管理費	167,931	183,423
営業利益	85,452	69,275
営業外収益		
原油スワップ差益	11,410	-
協賛金収入	-	9,523
その他	20,337	16,103
営業外収益合計	31,748	25,627
営業外費用		
支払利息	38,701	37,093
デリバティブ評価損	66,101	-
その他	7,522	8,228
営業外費用合計	112,325	45,322
経常利益	4,875	49,579
特別利益		
新株予約権戻入益	4,425	1,385
賞与引当金戻入額	10,186	7,068
特別利益合計	14,612	8,454
特別損失		
投資有価証券評価損	93,169	-
貸倒引当金繰入額	-	2,600
その他	3,149	-
特別損失合計	96,319	2,600
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	76,831	55,434
法人税、住民税及び事業税	8,424	45,781
法人税等調整額	28,617	8,589
法人税等合計	20,192	37,191
四半期純利益又は四半期純損失( )	56,639	18,242

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	112,694	33,427
減価償却費	466,472	403,099
退職給付引当金の増減額( は減少)	4,913	6,885
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	31,840	-
貸倒引当金の増減額( は減少)	-	9,600
賞与引当金の増減額( は減少)	6,489	3,767
受取利息及び受取配当金	6,038	7,337
支払利息及び社債利息	79,079	74,317
投資有価証券評価損益( は益)	93,169	-
売上債権の増減額( は増加)	84,150	44,028
たな卸資産の増減額( は増加)	4,040	11,904
未収消費税等の増減額( は増加)	126,828	-
未払消費税等の増減額( は減少)	44,508	13,175
仕入債務の増減額( は減少)	42,480	8,738
その他	65,066	6,531
小計	630,473	540,502
利息及び配当金の受取額	2,965	3,231
利息の支払額	79,891	69,749
法人税等の支払額	94,668	23,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,879	450,248
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	111,828	693,842
有形固定資産の売却による収入	666,359	7,065
投資有価証券の売却による収入	-	9,599
差入保証金の差入による支出	463,553	129,837
差入保証金の回収による収入	-	37,683
貸付けによる支出	70,000	320,000
貸付金の回収による収入	76,000	223,463
建設協力金の支払による支出	-	128,000
その他	10,156	8,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,822	985,552
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	250,000	623,800
長期借入れによる収入	-	592,000
長期借入金の返済による支出	457,000	389,500
リース債務の返済による支出	303,954	219,927
配当金の支払額	43,163	42,242
その他	42,806	43,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,096,923	520,998
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	551,222	14,305
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,123	938,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,041,900	924,310

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。